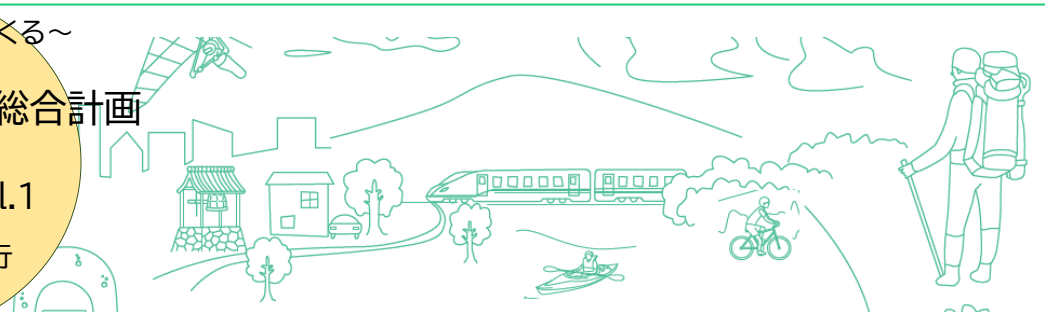


～これからの飯山をつくる～

(仮称)飯山市第6次総合計画

かわら版 vol.1

令和4年1月 発行
事業戦略室



～(仮称)第6次飯山市総合計画づくりがはじまりました～

これからの飯山の将来に向けた目指す姿をつくる、新たな総合計画づくりがまずは庁内でスタートしました。この計画はおよそ2か年をかけ、令和5年度を計画の初年度として策定していきます。より多くの人々が住みたい、住み続けたいと思う魅力的なまちをつくるにはどうしたらいいのか、この先みんなでまちづくりにどう取り組んでいくのか、これから多くの市民の皆さんからご意見をいただきながら進めていきます。

～総合計画ってナニ？～

「総合」って付いているから何となく大事な計画なの？ 他の計画とは関係がある？ そもそも必要なの？・・・などと思う皆さんは多いのではないかと思います。

総合計画は市の中心となる計画で、最上位計画に位置付けられているもっとも中心的な計画です。また、その計画を実現するために、各分野で個別の計画をつくり、施策が進められているという構造です。

現在の第5次総合計画がどんなものなのか、この機会に振り返ってみてはいかがでしょうか。

・・・総合計画は、

あらゆる分野のまちづくりの指針となる計画です。

市が直面する課題や社会経済情勢の変化を踏まえて、将来の市民、地域コミュニティ、企業、団体、行政がともに目指すまちの姿とその実現に向けて力を合わせて取り組むためのまちづくりの目標と方向性を示しています。

昭和48年から10年ごとに
つくりだされているんだね。
サブタイトルは将来像をイメ
ージしているのかな！



画像：いらすとや

これまでの総合計画の沿革

第1次総合計画 (S48～S57)

「住みよいふるさとへの園」

第2次総合計画 (S58～H4)

「自然と文化が調和するふるさと定住都市をめざして」

第3次総合計画 (H5～H14)

「ゆとり生むまち 新・生活実感都市をめざして」

第4次総合計画 (H15～H24)

「輝けいいやま！かえる宣言」

おらもやる あんたもやろうや いいやまづくり」

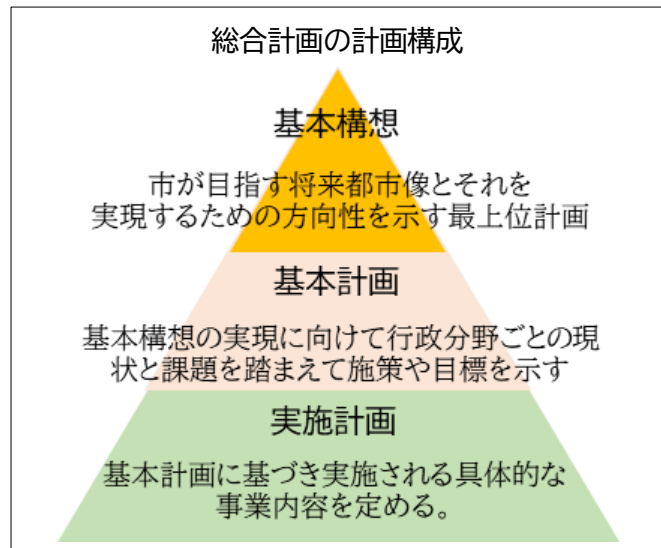
第5次総合計画 (H25～R4) ← 現在の計画

「自然と共生する豊かな暮らし 『技と縁のまち 飯山』」

…計画の構成は、

一般的に、基本構想、基本計画、実施計画の3層の計画で構成されていることが多いです。例えば、基本構想は、10年後の将来像を描き、基本計画では、基本構想を実現するための計画を前期5年、後期5年に分けてつくります。また、実施計画は具体的な事業として基本計画に基づき毎年3年ごとの計画をつくります。

今回の計画づくりは基本構想と基本計画(前期)を策定していきます。



～庁内アイデア会議、庁内策定委員会の合同会議を開催～

11月29日(月)、庁内の職員がメンバーとなり庁内アイデア会議、庁内策定委員会の第1回合同会議を開催しました。

庁内アイデア会議では、市の将来都市像や新たな施策などのアイデア出しを、庁内策定委員会では、各分野の個別計画との整合を図りながら計画の素案づくりを行っていきます。

会議の冒頭、市長からは、「自分たちの考えたことが現実となる、夢とビジョンをもって進めてほしい。また、思いつきだけでなくゴールをしっかりと見据えてほしい。」副市長からは、「計画策定が

目的ではない、市民のしあわせにつながるものにしてほしい。」教育長からは、「目まぐるしく激変する社会を見越して作っていくことになる、どんな飯山市にしていくか現状分析をしっかりと行い進めてほしい。」と会議の開催にあたり、計画策定にあたってのポイントや思いなどをそれぞれお話しいただきました。

今後、年度末までに合同会議を含めそれぞれ4回の会議を予定し素案づくりに取り組み、次年度早々に設置する市民から選出された市民アイデア会議で計画の素案をまとめていきます。

【編集後記】

第6次総合計画づくりがはじまりました。将来に向けた新たな飯山市のあるべき姿を考える大きな転換期であり、多くの皆さんに市政に関心や関りをもっていただきたいと願い、進捗状況を中心に「かわら版」という形で発信をはじめてみました。タイムリーな発信に心がけ、出来上がった計画がプロジェクトとなって、市民の皆さんとともに取り組んでいけたらと思っています。

